

令和元年8月28日

君津市議会議長 鈴木 良次 様

君津創生
会派代表 小林 喜久男

行政視察結果報告書

君津創生、行政視察報告書を次のとおり提出いたします。

記

- 1 期 日 令和元年7月22日(月)から
令和元年7月23日(火)まで
- 2 視 察 先 高知県 土佐市・香美市
- 3 調査事項
(1) 土佐市 高齢者運転免許証自主返納支援事業について
土佐市を勝手に応援し隊について
(2) 香美市 ふるさと納税について
- 4 参加議員 君津創生
会長 小林 喜久男
副会長 小倉 靖幸
会計 保坂 好一
会員 鴫田 剛
鈴木 良次
三浦 章
- 5 経 費 別紙のとおり

高知県 土佐市

県都高知市から西へ15キロ、高知県のほぼ中央に位置している。

古くから、良質で豊かな仁淀川の水を利用した農耕、製紙業等が発達してきたが、現在では温暖な気候を利用した施設園芸、メロン・花き・かんきつ・ピーマンなど、露地栽培ではショウガの栽培が盛んに行われている。海岸地・宇佐地区では遠洋・近海漁業が行なわれており、改良土佐節の発祥地である。

研修：議会会議室

期日：令和元年7月22日（月）

時刻：13：30～14：50

研修内容

高齢者運転免許証自主返納支援事業

概要

高齢者の交通事故防止対策の一環として運転に不安のある高齢者の運転免許証自主返納を支援します。

【対象者】

土佐市に住所があり、平成25年4月1日以降に有効期限内の運転免許証を自主返納し申請による運転免許証の取消通知書を受けられた高齢者（自主返納した時点で満65歳以上の方）

【支援内容】※1人につき1回限り

(1) 次のア～ウのいずれかを交付

ア、土佐市ドラゴン市場買物券（6,000円分）

イ、土佐市ドラゴンバス乗車券（6,000円分）

ウ、土佐市タクシー利用券（6,000円分）

(2) 運転経歴証明書の交付を受けた方は交付手数料（1,100円）の助成

質問事項

Q、運転経歴証明書のサイズや記載されている内容を教えてください。

（警察関係なので全校統一ですか）

A、サイズ内容とも全国統一です。運転免許証と同一サイズです。

Q、警察署と市民課交通係の2か所を行かなければ支援事業の申請が出来ないのは高齢者の負担になると考えるが、苦情などありましたらお聞かせください。

A、苦情はあまりない

警察署員より6,000円分の支援サービスがあるのでどうですかと、返納した市民へ話をしているので、意外と速やかに業務を遂行している。

Q、助成金のほかに3つの交付事業がありますが、人気の品物は何でしょうか

又、有効期限はあるのでしょうか

A、有効期限は1年間

人気はドラゴン市場の買物券とタクシーチケットが二分しています。

Q、これまでの実績はどうでしょうか、又男性・女性の比率はどうでしょうか

A、年齢はだいたい80才前後、比率も男女同等ぐらいです。

Q、65才という年齢の基準は为什么呢

A、警察署の考え方が65才を基準値としてとらえているため

所感

・運転経歴証明書は身分証明としては運転免許、マイナンバーカードと同等の扱いがされている。運転事故の予防対策として現在は支援を市独自で展開しているので今後の展開が注目されるのは無いかと思う。

返納するという事は、今までとは違う移動（自動車から公共交通機関）の問題に直面するので、市民は生活活動に及ぼす影響は大きい。路線バスやデマンドタクシーの活用方法など考えて交通弱者への救済を考えなければならないと思います。

土佐市を勝手に応援し隊について

概要

土佐市のイメージや認知度を高め、交流人口を増加させるために、魅力ある地域情報等の発信をお手伝いいただける方を募集している。

土佐市にゆかりのある方や土佐市に訪れて土佐市が好きになった方などSNSを通じて土佐市の情報を発信してくれる方であればどなたでも応募が可能。

土佐市を勝手に応援し隊とは

土佐市の地域情報等を全国に向けてPRするサポーターの名称です。
土佐市の歴史や食、自然など魅力ある地域情報等の発信をお願いしています。

隊員の応募条件

土佐市内外にお住まいで、土佐市のPRを積極的に行っていただける方で、特にSNS等での情報発信を行っていただける方。

隊員にお渡しするもの

- 1 隊員登録証
- 2 観光情報や各種イベント情報
- 3 その他宣伝情報

隊員にお願いしたいこと

土佐市の地域情報を等について全国に向けてPRする活動。

県外に会う機会に土佐市の魅力や地域情報などPRしていただく事。

任期について

2年（特に辞退等の無い場合は継続）

登録方法

申込書に必要事項を記載し、未来づくり課まで郵便又は、ファックス、メールでお申込み下さい。

質問事項

Q 土佐市を勝手に応援し隊の事業予算は

A 特に予算は組まれていません

Q 隊員数は

A 現在140名くらい

Q リーダー的存在の方はいるのでしょうか

A リーダー的な方ではないのですが、土佐市のPRは私がやらねばという熱血漢のある方がいまして、情報発信をお手伝いいただいている。

Q 活動の仕方は個人的・グループでの活動ですか

A 個々でしている方、グループでの活動の方もいるので一概には言えません

Q 情報発信は正しい情報が必要とされますが、情報を発信する際の決まり事などはないのでしょうか

A 決まりごとはありません。市の情報を元に情報を発信して頂いています
また、現地でのレポートをしていただいているので間違いはないと思います。

Q 土佐市民以外の方が情報発信する際に決まりごとがありますか

A 隊員の区別はしていません。

Q 交流人口の増加について何か顕著に表れた事例はありますか

A 関東などで県人会があるときにPRしていただいています。
まだ、始めたばかりなので特に表れてはいません。

Q 食レポは個人的な意見など含まれるが、どの程度まで許されるのか

A 批判的な意見は困りますが、ある程度の寛容さをもって発信して頂いている。
基本的には土佐市を好きになってもらうことが目的です。

Q 任期について2年という事ですが、入隊時期は決まっているのかそれとも
随時募集なのでしょうか

A 入隊してから2年が任期です。現在は入隊時期は設けていませんので随時
募集をしています。

所感

土佐市を愛してやまない方が多くいることがわかりました。今回、土佐市の魅力を発信していくに当たり、市の執行部だけではなく市民や土佐の情報を発信して頂ける人を隊員として市全体を盛り上げる努力をしていました。まだ始めたばかりと言っていましたが、視野はかなり広いものを感じました、それは高知県のみではなく日本全国に土佐市をアピールしていく方がいることや、各地域に（都市部）にもアンテナショップ利用して市の特徴や物産をアピールしていることがわかり今後の展開が楽しみになりました。



高知県 香美市

平成18年3月1日、土佐山田町・香北町・物部村の2町1村が合併して誕生しました。

剣山国定公園を含む四国山地中東部から高知平野北東城にまたがる面積538km²の市です。

清流物部川を中心に人・物の交流が古くから行われ発展してきた歴史を持ちます。

地形的には平野部が1割程度、残りはおおむね1000～1800mの高峰がそびえる典型的な中山間地域であり、主な産業は一次産業です。特産品としては、ユズ、やっこねぎ、にらなどがあり、土佐打刃物、フラフ製造（染色）といった伝統産業も受け継がれています。

座学研修：市役所5階 委員会室3にて

期日：令和 元年7月23日（火）

時刻：午前9時30分～11時15分

研修内容

ふるさと納税について

香美市まちづくり寄付金制度は、平成20年4月からの寄付金税制の改正に伴い、香美市では同年6月に導入いたしました。

皆様からいただいた寄付金は、「輝き・やすらぎ・賑わいをみんなで築くまちづくり」の

まちづくり基本理念に基づき、4つのコースで活用させていただきます。

①かがやきコースは、教育・文化等に関する事業に、②やすらぎコースは、福祉・環境に関する事業に、③にぎわいコースは、産業・まちづくり等に関する事業に、④市長おまかせコースは、分野を限定せず市政全般に活用されます。

平成30年度については、以下のような内容で使用しました。

寄附金コース	使用金額	使 途 内 容
かがやき	7,582,000 円	電子黒板、文化財マップ、「音楽の調べ」謝金他、子ども会提灯他
やすらぎ	10,600,000 円	絵本ラック、絵本他、室内遊具、プロジェクター、全自動血圧計、乳幼児マット、宝町児童公

		園遊具
にぎわい	3,212,000 円	イベント用ちょうちん、轟の滝樹木伐採、地域活性化事業香美市のキャラクター着ぐるみ3体
市長おまかせ	11,549,000 円	防災倉庫、災害時備蓄品、折りたたみテーブル、移住定住促進事業住み歩き MAP、婚活事業「高知でこいしよマッチング」登録料助成、姉妹都市交流事業 鳴子、フラフ他、ポリバック（両面プリント）

返礼品の協力事業者（生産者）とは、年に数回委託業者を招いての事業者勉強会を開き新規返礼品の提案また、個別に事業者訪問を行い情報収集交換に努め関係を築いています。

年度により急激に寄附金の伸びた要因は2015年に返礼品に、お米を追加したこと、2016年に返礼品事業者と返礼品数を増やし、広告宣伝を行ったことが増加につながった。

ふるさと納税委託先業者「さとふる」とは、一括業務委託契約を結び、返礼品代を含め寄附金総額の12%で契約しています。

今後、委託先業者「レッドホース」を加えていく予定です。

香美市へ Q&A

「まちづくり寄附金」について

Q 君津市では財政部財政課が担当で業務を行っているのですが、香美市はまちづくり班という安住推進課で業務されていますが、当初からこの体制でしたか

A 当初はまちづくり推進課まちづくり班で行い、現在は定住推進課のまちづくり班でワンストップ受付や返礼品などを行い、税金分の業務は財政課がまとめています。

Q 返礼品の協力事業者（生産者）との関係はどのように構築していますか

A 年数回委託業者を招いての事業者勉強会を開いたり個別に事業者の訪問をしたり返礼品の提案など情報の収集をしています。

Q 寄附金活用コースがありますが、選出の仕方はどのようにされましたか

A 第2次香美市振興計画の香美市まちづくり計画の基本理念である「かがやき」「やすらぎ」「にぎわい」をみんなで築く、を基に3つのコースに分けています。かがやきコースは教育・文化、やすらぎコースは福祉・環境、にぎわいコースは産業・まちづくりになっています。

それと4つ目は市長おまかせコース、これは分野を限定せずに市政全般に活用され、市長おまかせコースになっています。

Q 寄付金活用の4つの内人気があるのはどのコースでしょうか

A 市長おまかせコースが全体寄付金の6割になります。

Q 寄付金活用の内容変更は考えていますか

A 今のところ変更は考えていません。まちづくり基本計画の基本理念に沿って行きたいと考えています。

Q 2013年,2014年,2015年,2016年の4年間でかなりの寄付金件数の変動がありました。この時期の移り変わりを詳しく教えてください。

A 2013年で105万、2014年は1,222万です。この年は多額の寄付金があり又、返礼品を増加した年でもあります。

2015年2,700万の伸びは返礼品にお米を追加したことが多くの寄付金に繋がった。

2016年2億2,644万については返礼品開拓と事業者の増加、広告の宣伝など関西方面へ新聞など広報の効果が表れたのではないかと思います。

Q 返礼品サイトの「さとふる」とはどのような契約を結んでいますか

A 一括業務委託を結んでいます。

Q 「さとふる」を選んだ理由は为什么呢

A 担当職員の1名での業務が困難になり一括しての業務が可能であり個人情報取り扱いが十分に担保されている

Q 今後の課題などありましたら教えてください。

A 法改正により募集に要した当該各年度において経費は100分の50以下であること現状はクリアしていますが今後、寄付額が増加した場合この基準をクリアできるかが課題です。現状は「さとふる」に12%、返礼品に30%で合計42%残り8%しかありませんのでどのようにやりくりしていくのが課題となっています。その他、広報や商品開発など経費が掛かりますのでこの負担も考えなければならぬ事です。

課題と所見

法改正により、各年度において寄付金の募集に要した費用の合計が、当該各年度において受領した寄附金の合計額の50%以下であることと定められており、現状クリアしているが、今後寄付額が増加した場合、その基準をクリアできるかが課題である。委託事業者「さとふる」に支払い12%、返礼品代30%、それだけで42%、残り8%で残りの経費を出さなければならない。

その他の経費として返礼品等の調達に係る費用、返礼品等の送付に係る費用、広報に係る費用、決済等に係る費用、事務に係る費用等かかり、残り8%に納めるのは大変厳しいと考えられる。

返礼品のサイトについては事務量の軽減にはなりますのでおおいに使用し協力を求めていくことが大切だと思います。

お返しの品は独自性を兼ね備えた返礼品開発をしないといけないと感じました。経済部観光課などを中心としたところで力を合わせていかないと伸びしろはないのではないかと考えます。

ふるさと納税の使い道はまだまだ多岐にわたった活用が求められます。君津市においても使い道を市民の皆さまと考えていきたいと思っています。





廃校となった学校の跡活用



